

注3

大学番号：私252

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

広島修道大学 健康科学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長・栗原 ^{クリハラ} ^{シンジ} 伸治

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

FAX 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康科学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	69

＜健康栄養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	14
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	38
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	69

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人修道学園

(2) 大 学 名

広島修道大学

(3) 大学の位置

〒731-3195

広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学 長	(イチカワ タイチ) 市川 太一 (平成22年4月1日)		
学 部 長	(マスダ ヒサシ) 増田 尚史 (平成29年4月1日)		
学科長等	(フルミツ イサト) 古満 伊里 (平成29年4月1日)		(心理学科)
学科長等	(ヤマウチ アリノブ) 山内 有信 (平成29年4月1日)		(健康栄養学科)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合（平成29年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

(心理学科)

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	80人	— 年次人	320人	

(健康栄養学科)

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 健康栄養学科 学士(栄養学)	家政関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

(心理学科)

対象年度 区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 (—) [—]	1.06倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	770 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	757 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	241 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	85 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1.06			

(健康栄養学科)

対象年度 区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	0.98倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	279 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	278 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	198 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	79 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B / A	—		—		—		0.98			

(注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について **外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数で**記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

(心理学科)

対象年度 学 年	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	85 [0]	— [—]	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	
計							85 [—] (—)		

(健康栄養学科)

対象年度 学 年	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [0]	— [—]	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	
計							79 [—] (—)		

(注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
- ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(心理学科)

合 計	85 人	0 人			0.00 %
-----	------	-----	--	--	--------

(健康栄養学科)

入学者	79人	0人	平成29年度	0人	0人	0.00 %
合 計	79人	0人				0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留學生については、「『出入国管理及び難民認定法』別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国入学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、『当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計』を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜健康科学部 心理学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
修 道 ス タ ン ダ ー ド 科 目	全 学 共 通 科 目	修大基礎講座	1①	2		2	2	1					
		初年次セミナー	1②	2		1							
		情報処理入門Ⅰ	1①～②	2								兼2	
		情報処理入門Ⅱ(情報と表現)	1・2①～④	2								兼6 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)
		情報処理入門Ⅱ(情報と分析)	1・2①～④	2								兼6 兼5	平成29年度の担当者調整による(29)
		大学生活とキャリア形成	2①～②	2								兼3	
		地域イノベーション論	1・2①～④	2								兼1	
		地域コミュニケーション論	1・2①～④	2								兼1	
		ひろしま未来協創プロジェクト(都心のコミュニケーション)	2・3①～②	2								兼1	
		ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のコミュニケーション)	2・3①～②	2								兼1	
		ひろしま未来協創プロジェクト(都心のイノベーション)	2・3③～④	2								兼1	
		ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のイノベーション)	2・3③～④	2								兼1	
		ひろしま未来協創特講(ファシリテーション入門)	1・2①	1								兼1	
		ひろしま未来協創特講(ワークショップ・スキル入門)	1・2②	1								兼1	
		ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・中山間)	① 1・2④	1								兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
		ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・都心)	② 1・2④	1								兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2①～②	2								兼4		
グ ロー バ ル 科 目	留 学 生 教 育 科 目	日本語Ⅰ	1・2①～②	1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅱ	1・2③～④	1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅲ	1・2①～②	1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅳ	1・2③～④	1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅴ	1・2①～②	1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅵ	1・2③～④	1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅶ	1・2①～②	1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
		日本語Ⅷ	1・2③～④	1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
		アカデミック日本語	1・2①～④	2								兼1	
		ビジネス日本語	1・2①～④	2								兼1	
		日本研究(日本の政治)	1・2①～④	2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)
		日本研究(日本の民族)	1・2①～④	2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)
		日本研究(日本の経済)	1・2①～④	2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)
留 学 支 援 教 育 科 目	留 学 支 援 教 育 科 目	留学スタートアップ	1・2①～④	1								兼1	
		留学英語入門(TOEFL/IELTS)	1・2①～④	2								兼1	副題による科目名の明確化(29)
		英語圏留学入門	1・2①～④	1								兼2 兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
		アジア圏留学入門	1・2①～④	1								兼1	
		外国語としての日本語	1・2①～④	2								兼1	
		留学フォローアップ	1・2①～④	1								兼1	
		グローバル特講Ⅰ	1①～④	2								兼2 兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
		グローバル特講Ⅱ	1①～④	1								兼1	
		グローバル特講Ⅲ	2①～④	2								兼1	
		グローバル特講Ⅳ	3①～④	1								兼1	
		海外研修A	1～4	1									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
		海外研修B	1～4	2									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
		海外研修C	1～4	3									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
	海外研修D	1～4	4									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)	
	海外研修E	1～4	5									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)	
	グローバル特講Ⅳ	3①～④	1								兼1		
国 際 共 修 科 目	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業の明確化(29)
	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業の明確化(29)
	Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業の明確化(29)
	Multicultural Project(Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業の明確化(29)

		Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2①～④	2					兼1	副題による授業の明確化 (29)
		多文化交流プロジェクト (多文化理解)	1・2①～④	2					兼1	副題による授業の明確化 (29)
		多文化交流プロジェクト (地方の魅力)	1・2①～④	2					兼1	副題による授業の明確化 (29)
		多文化交流プロジェクト (広島再発見)	1・2①～④	2					兼1	副題による授業の明確化 (29)
		多文化交流プロジェクト (日本語・日本文化セミナー)	1・2①～④	2					兼1	副題による授業の明確化 (29)
共通教育科目	教養科目	哲学	1・2①～②	2					兼1	平成29年度の担当者調整及び時間割調整により開講期を変更 (29)
		倫理学	1・2③～④	2					兼1	
		美学	1・2①～②	2					兼1	
		芸術学	1・2①～②	2					兼2	
		日本文学	1・2①～②	2					兼1	
		西洋文学	③～④ 1・2①～②	2					兼2 兼1	
		日本語学	1・2①～②	2					兼1	
		心理学	①～③ 1④→③	2	3	1	1			
		文化論	④ 1・2①～②	2					兼2	
		文化人類学	1・2①～②	2					兼1	
		日本史	1・2①～②	2					兼2	
		東洋史	1・2①～②	2					兼1	
		西洋史	1・2①～②	2					兼2 兼1	
		地理学	1・2①～②	2					兼2	
		社会学	1・2①～②	2					兼1	
		法学	1・2①～②	2					兼1	
		政治学	1・2①～②	2					兼1	
		経済学	④ 1・2①～②	2					兼1 兼2	
		統計学	1・2①～②	2					兼1	
		情報社会論	1・2①～②	2					兼1	
		物理学	1・2③～④	2					兼1	
		化学	1・2①～④	2					兼1	
		生物学	1・2①～④	2					兼1	
		環境科学	1・2①～④	2					兼1	
		数学	1・2①～②	2					兼1	
		教養講義 (現代の哲学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (西洋の美術)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (西洋の音楽)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (江戸文学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (ドイツ文学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (西洋文化論)	①～② 1・2③→④	2					兼1	
		教養講義 (アジアの文化と社会)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (日本近代史)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (日本近現代史)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (東洋近世史)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (西欧近代史)	未開講 1→2③→④	2					兼1	
		教養講義 (西洋中近世史)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (生活の中の地理学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (社会学のものの見方と考え方)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (現代経済学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (応用統計学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (情報環境論)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (ヒトの生命科学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (応用数学)	1・2③～④	2					兼1	
		教養講義 (現代心理学の展開)	④ 1②	2			1			
		教養講義 (社会と政治)	1・2①～②	2					兼1	
		総合教養講義a (近代の哲学)	③～④ 1・2①→②	2					兼1	
		総合教養講義a (終末期医療と倫理)	1・2③～④	2					兼1	
		総合教養講義a (西洋美術の図像学)	1・2③～④	2					兼1	
		総合教養講義a (浮世絵)	1・2①～②	2					兼1	
総合教養講義a (江戸時代の化粧・結髪)	1・2①～②	2					兼1			
総合教養講義a (神仏と芸能)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (現代日本語の特質)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (英語と日本語)	1・2①～②	2					兼1			
総合教養講義a (ことばと社会)	1・2①～②	2					兼1			
総合教養講義a (ピアノ講座)	1・2①～④	2					兼1			
総合教養講義a (声楽と合唱)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (教育文化論)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (歴史と社会)	③ 1・2①→④	2					兼1			
総合教養講義a (現代日本社会の諸相)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2①～②	2					兼1			
総合教養講義a (ベーシック・ファイナンス)	1・2①～②	2					兼1			
総合教養講義a (コーポレートファイナンス入門)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (働く人のための経営学)	①～② 1・2③→④	2					兼1			
総合教養講義a (現代社会と企業)	1・2③～④	2					兼1			
総合教養講義a (現代社会とマーケティング)	② 1・2①～④	2					兼1			
総合教養講義a (家族と法)	①～② 1・2③→④	2					兼1 兼2			

	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2 ③ ^{①～②} ④	2					兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2 ③ ^{①～②} ④	2					兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2①～②	2					兼1	
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2③～④	2					兼1	
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2①～②	2					兼1	
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2①～④	2					兼1	
	総合教養講義a(大気の問題と生態系)	1・2①～④	2					兼1	
	総合教養講義a(生物多様性保全の問題)	1・2①～④	2					兼1	
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2①～④	2					兼1	
	総合教養講義a(自然環境と災害)	未開講 1・2 ① ^{①～②} ③	2					兼1	平成29年3月担当者退職による(29)
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2③～④	2					兼1	
	総合教養講義b(芸術文化学)	2①～④	2					兼1	
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2③～④	2					兼1	
	総合教養講義b(和紙)	2③～④	2					兼1	
	(メディア論)								
	総合教養講義b(マスコミ論)	2③～④	2					兼1	平成29年度教育内容の見直しによる科目名称変更(29)
	総合教養講義b(社会保障論)	2③～④	2					兼1	
	総合教養講義b(労働問題と法)	2③～④	2					兼1	
	総合教養講義b(国際理解)	2①～②	2					兼1	
	総合教養講義b(生命情報論)	2①～②	2					兼1	
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2①～②	2					兼12	
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2①～④	2					兼4 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1①～②	1					兼4	
	英語リスニングⅢ	1①～②	1					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リスニングⅤ	1①～②	1					兼1	
	英語リスニングⅡ	1③～④	1					兼4	
	英語リスニングⅣ	1③～④	1					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リスニングⅥ	1③～④	1					兼1	
	英語リーディングⅠ	1①～②	1					兼4	
	英語リーディングⅢ	1①～②	1					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リーディングⅤ	1①～②	1					兼1	
	英語リーディングⅡ	1③～④	1					兼4	
	英語リーディングⅣ	1③～④	1					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リーディングⅥ	1③～④	1					兼1	
	実用英語実習Ⅰ	1・2①～②	1					兼1	
	実用英語実習Ⅱ	1・2③～④	1					兼1	
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語ライティング研究Ⅲ	未開講 1・2 ① ^{①～②} ③	2					兼1	平成29年度の担当者調整による(次年度以降開講予定)(29)
	英語ライティング研究Ⅳ	未開講 1・2 ③ ^{①～②} ④	2					兼1	平成29年度の担当者調整による(次年度以降開講予定)(29)
	英語読解研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼3 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語読解研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼3 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語読解研究Ⅲ	1・2①～②	2					兼1	
	英語読解研究Ⅳ	1・2③～④	2					兼1	
	英語聴解研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語聴解研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語聴解研究Ⅲ	1・2①～②	2					兼1	
	英語聴解研究Ⅳ	1・2③～④	2					兼1	
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2①～②	2					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2③～④	2					兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2①～②	2					兼1	
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2③～④	2					兼1	
	英語語法研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼2	
	英語語法研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼2	
	英語語法研究Ⅲ	1・2①～②	2					兼1	
	英語語法研究Ⅳ	1・2③～④	2					兼1	
	資格英語研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼5	
	資格英語研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼5	
	資格英語研究Ⅲ	1・2①～②	2					兼2	
	資格英語研究Ⅳ	1・2③～④	2					兼2	
	資格英語研究Ⅴ	未開講 1・2 ① ^{①～②} ③	2					兼1	平成29年度の担当者調整による(次年度以降開講予定)(29)
	資格英語研究Ⅵ	1・2③～④	2					兼1	
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2①～②	2					兼1	
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2③～④	2					兼1	

外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	ドイツ語Ⅱ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	ドイツ語Ⅲ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	ドイツ語Ⅳ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	フランス語Ⅰ	1①～②	1						兼1
	フランス語Ⅱ	1③～④	1						兼1
	フランス語Ⅲ	1①～②	1						兼1
	フランス語Ⅳ	1③～④	1						兼1
	スペイン語Ⅰ	1①～②	1						兼1
	スペイン語Ⅱ	1③～④	1						兼1
	スペイン語Ⅲ	1①～②	1						兼1
	スペイン語Ⅳ	1③～④	1						兼1
	中国語Ⅰ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	中国語Ⅱ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	中国語Ⅲ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	中国語Ⅳ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1①～②	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1③～④	1						兼2 平成29年度の担当者及びクラス数調整による(29) 兼1
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2③～④	2						兼1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2①～②	2						兼2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2③～④	2						兼2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2①～②	2						兼1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2③～④	2						兼1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2①～②	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2③～④	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2①～②	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2③～④	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2①～②	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2③～④	2						兼1 平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加(29)
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2①～②	2						兼1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2③～④	2						兼1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2①～②	2						兼1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2③～④	2						兼1
保健体育科目	健康科学論	1・2 ③ ^① ～④	2						兼2 時間割調整により開講期を変更(29)
	運動科学論	1・2③～④ ^{③～④}	2						兼1
	健康科学演習	1・2 ① ^③ ～②	2						兼1 時間割調整により開講期を変更(29)
	運動科学演習	1・2③～④	2						兼1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2③～④	1						兼1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2 ① ^③ ～④	1						兼1 平成29年度の担当者調整及び時間割変更による(29) 兼2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2①～④	1						兼1 人数誤記入(29) 兼2
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2①～②	1						兼1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2①～④	1						兼3 平成29年度の担当者調整による(29) 兼2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2①～②	1						兼2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2①～④	1						兼3 平成29年度の担当者調整による(29) 兼2
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2 ③ ^{①～②} ～④	1						兼1 時間割調整により開講期を変更(29)
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2①～④	1						兼1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2 ③ ^① ～④	1						兼2 平成29年度の担当者調整及び時間割変更による(29) 兼3

		健康スポーツ実習（ボディワーク）	未開講 1・2③～④	1						兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除 (29)
		健康スポーツ実習（Shudo AP）	1・2③～④	1						兼1	
		健康スポーツ実習（アダプテッド・スポーツ）	1・2③～④	1						兼2	
		健康スポーツ実習（フットサル）	未開講 1・2①～④	1						兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除 (29)
		運動スポーツ実習（777フィックス）	1・2①～④	1						兼1	
		運動スポーツ実習（エアロビクス）	未開講 1・2③～④	1						兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除 (29)
		運動スポーツ実習（ゴルフ）	③ 1・2①～④	1						兼1	時間割調整により開講期を変更 (29)
		運動スポーツ実習（サッカー）	1・2①～④	1						兼2	
		運動スポーツ実習（ソフトボール）	③ 1・2①～④	1						兼3	時間割調整により開講期を変更 (29)
		運動スポーツ実習（卓球）	1・2①～④	1						兼2	
		運動スポーツ実習（ダンス）	未開講 1・2①～②	1						兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除 (29)
		運動スポーツ実習（テニス）	1・2①～④	1						兼3 兼2	人数誤記入 (29)
		運動スポーツ実習（バスケットボール）	1・2①～④	1						兼1	
		運動スポーツ実習（バドミントン）	1・2①～④	1						兼2	
		運動スポーツ実習（バレーボール）	1・2①～④	1						兼1	
		運動スポーツ実習（フットサル）	1・2①～④	1						兼1	
		野外運動実習Ⅰ（キャンプ）	1・2①～②	1						兼3	
		野外運動実習Ⅰ（スキー）	1・2③～④	1						兼3	
		野外運動実習Ⅱ（キャンプ発展）	1・2①～②	1						兼1	
		野外運動実習Ⅱ（スキー発展）	1・2③～④	1						兼1	
主専攻科目	健康科学部総合科目	健康科学統計法	1①	2			1	1			
		健康心理学	1・2②	2		1					
		食行動科学	2・3①	2		1					
		カウンセリング心理学	2・3②	2		1					
		栄養と健康	1①～②	2						兼1	
		基礎化学	1①～②	2						兼1	
		食育入門	3①～②	2						兼1	
		地域食文化論	3③～④	2						兼1	
		スポーツ文化論	1・2①～②	2						兼1	
		コミュニケーション論A	2・3①～②	2						兼1	
		コミュニケーション論B	2・3③～④	2						兼1	
		スポーツ社会学	2・3①～②	2						兼1	
		健康科学部特別講義（生命と倫理）	1③～④	2						兼1	
		インターンシップ	2・3通	2		1				兼2	
		イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2019）	3・4通	2						兼1	
		イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2019）	3・4③～④	2						兼1	
心理学関連科目		イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2020）	3・4通	2						兼1	
		イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2020）	3・4③～④	2						兼1	
		哲学概論Ⅰ	1①～②	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		哲学概論Ⅱ	1・2③～④	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		倫理学概論Ⅰ	1①～②	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		倫理学概論Ⅱ	1・2③～④	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		法律学概論	1・2③～④	2						兼4	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		政治学概論	2・3①～②	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		国際法	2・3③～④	4						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		国際政治学Ⅰ	2・3①～②	2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
専門基礎科目		現代経済入門Ⅰ	1①～②	2						兼2 兼4	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		現代経済入門Ⅱ	1③～④	2						兼2 兼4	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により自由選択科目から移動 (29)
		心理学概論Ⅰ	1①	2				1			
		心理学概論Ⅱ	1①	2				1			
		心理学研究法	1①	2				1			
		心理調査概論	1②	2		1	1				
		心理統計法Ⅰ	1③	2			1	1			
		心理学実習Ⅰ	1④	1				1			
		心理学実習Ⅱ	2①	1				1			
		心理学基礎演習	2④	1		2	2				
		心理学史	2・3①	2		1					
		心理学外国語文献	2・3①	2		1					
		心理学キーワードA	2①	2		1					
		心理学キーワードB	2②	2			2				
		心理情報処理Ⅰ	2・3①	2						兼1	

	心理情報処理Ⅱ	2・3②		2						兼1	
	最新心理学講義（文化心理学とその展開）	1・2③		2						兼1	
	最新心理学講義（適合学習理論の基礎と応用可能性）	1・2③		2						兼1	
	地域援助実践体験	2通		4		3					
	心理学とキャリア形成	2③		1		3					
専門標準科目 心理臨床領域	臨床心理学	1・2②		2		2				兼1	
	医学概論	1・2③		2							
	障がい者（児）心理学	1・2④		2		1					
	ストレスマネジメント	2・3①		2		1					
	心理査定論	1・2④		2			1				
	人格心理学	1・2④		2						兼1	
	心理療法論	2・3④		2						兼1	
	認知行動療法論	2・3①		2		1					
	犯罪心理学	1・2③		2		1					
	学校臨床心理学	1・2④		2		1					
専門標準科目 心理調査領域	発達臨床心理学	2・3②		2		1					
	児童福祉論	1④		2						兼1	
	社会心理学	1②		2		1				兼1	
	応用心理学	1・2③		2			1				
	集団力学	1・2③		2			1			兼1	
	組織心理学	2①		2							
	心理統計法Ⅱ	2④		2			1	1			
	学校教育心理学	1・2②		2		1					
	実験社会心理学	2・3①		2		1					
	産業心理学	2④		2						兼1	
専門標準科目 心理科学領域	動機づけ・感情心理学	1・2④		2		1				兼1	
	学習心理学	1③		2							
	認知心理学	1・2②		2		1					平成29年4月教授昇任（29）
	発達心理学	1・2③		2		1	1				
	進化心理学	2・3②		2		1				兼1	
	知覚心理学	1③		2						兼1	
	生理心理学	1④		2						兼1	
	乳幼児心理学	2・3④		2			1				
	心理言語学	2・3③		2		1					
	専門発展科目	心理学特殊実習	2②	1			6	1			
心理学実習Ⅲ		3①～②	1			8	3				
心理学実習Ⅳ		3③～④	1			8	3				
心理臨床・実践職能論		3・4①		2		1					
心理統計法Ⅲ		3・4①		2		1					
演習Ⅰ		3①～②	2			8	3				
演習Ⅱ		3③～④	2			8	3				
演習Ⅲ		4①～②	2			8	3				
演習Ⅳ		4③～④	2			8	3				
卒業論文		4通	4			8	3				
自由選択科目	法学概論	1・2③～④		2						兼4	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	政治学概論	2・3①～②		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	教育政策論	2・3①～②		2						兼1	
	国際法	2・3③～④		4						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	国際政治学Ⅰ	2・3①～②		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	国際政治学Ⅱ	2・3③～④		2						兼1	
	現代社会学	1・2③～④		2						兼1	
	現代経済入門Ⅰ	1①～②		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	現代経済入門Ⅱ	1③～④		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	生涯学習論Ⅰ	未開講 1・2①～②		2						兼1	担当者の授業数調整により隔年開講とする（次年度開講予定）（29）
	生涯学習論Ⅱ	未開講 1・2③～④		2						兼1	担当者の授業数調整により隔年開講とする（次年度開講予定）（29）
	社会教育計画Ⅰ	③～④ 1・2①～②		2						兼1	時間割調整により開講期を変更（29）
	社会教育計画Ⅱ	①～② 1・2③～④		2						兼1	時間割調整により開講期を変更（29）
	哲学概論Ⅰ	1①～②		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	哲学概論Ⅱ	1・2③～④		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	倫理学概論Ⅰ	1①～②		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）
	倫理学概論Ⅱ	1・2③～④		2						兼1	教職課程認定申請時の文部科学省中等教育局からの指摘により主専攻科目に移動（29）

資格課程に関する科目	教職入門(中等)	1①～②			2						兼1	
	教育心理学(中等)	2・3③～④			2	1						
資格課程に関する科目	教育原理(中等)	1①～②			2						兼1	
	教育制度論(中等)	1③～④			2						兼1	
	中等社会科教育法A	3①～②			2						兼1	
	社会科・公民科教育法A	3③～④			2						兼1	
	中等道徳教育論	2③～④			2						兼1	
	中等特別活動論	2③～④			2						兼1	
	中等教育方法論	2①～②			2						兼1	
	中等生徒・進路指導論	2①～②			2						兼1	
	中等教育相談	2③～④			2						兼1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通			1						兼2	
	中等教育実習Ⅰ	3通			2						兼1	
	中等教育実習Ⅱ	4通			2						兼1	
	教職実践演習(中・高)	4③～④			2						兼3	
	差別問題論	1・2①～②			2						兼1	
	人権教育論	1③～④			2						兼1	
資格課程関連授業科目	憲法Ⅰ	1・2①～②			2						兼2	
	憲法Ⅱ	1・2③～④			2						兼2	
	社会教育実習	3通			2						兼1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	324	20	362	18	339	20	377	
				[0]	[15]	[0]	[15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2①～②	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。
2	英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2③～④	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。
3	資格英語研究Ⅴ	2	1・2①～②	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教養講義(西欧近代史)	2	1・2③～④	一般	選択	担当者が退職したことにより科目削除。
2	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2①～②	一般	選択	担当者が退職したことにより科目削除。
3	健康スポーツ実習(ボディワーク)	1	1・2③～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
4	健康スポーツ実習(フットサル)	1	1・2①～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
5	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2③～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
6	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2①～②	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目と未開講科目はすべて、全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由に示すとおり、これらの科目の未開講・廃止のほとんどが、申請時点では予測不可能なものであった。また、すべてが選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学修に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。

学生には、学生必携の「学修の手引き」および入学時及び成績発表時に教学センターガイダンスを開催し、丁寧に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{362} = \boxed{2.48} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<健康科学部 健康栄養学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
修 道 ス タ ン ダ ー ド 科 目	全 学 共 通 科 目	修大基礎講座	1①		2		3							
	初年次セミナー	1②		2		2								
	情報処理入門Ⅰ	1①～②	2									兼2		
	情報処理入門Ⅱ(情報と表現)	1・2①～④		2								兼6 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)	
	情報処理入門Ⅱ(情報と分析)	1・2①～④		2								兼6 兼5	平成29年度の担当者調整による(29)	
	大学生活とキャリア形成	2①～②		2								兼3		
	地域イノベーション論	1・2①～④		2								兼1		
	地域コミュニケーション論	1・2①～④		2								兼1		
	ひろしま未来協創プロジェクト(都心のコミュニケーション)	2・3①～②		2								兼1		
	ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のコミュニケーション)	2・3①～②		2								兼1		
	ひろしま未来協創プロジェクト(都心のイノベーション)	2・3③～④		2								兼1		
	ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のイノベーション)	2・3③～④		2								兼1		
	ひろしま未来協創特講(ファシリテーション入門)	1・2①		1								兼1		
	ひろしま未来協創特講(ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1								兼1		
グ ロ ー バ ル 科 目	留 学 生 教 育 科 目	ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・中山間)	1・2④ ^①		1							兼1	時間割調整により開講期を変更(29)	
		ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・都心)	1・2④ ^②		1							兼1	時間割調整により開講期を変更(29)	
		広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2①～②		2								兼4	
		日本語Ⅰ	1・2①～②		1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
日本語Ⅱ		1・2③～④		1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅲ		1・2①～②		1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅳ		1・2③～④		1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅴ		1・2①～②		1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅵ		1・2③～④		1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅶ		1・2①～②		1								兼1 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)	
日本語Ⅷ		1・2③～④		1								兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)	
アカデミック日本語		1・2①～④		2								兼1		
ビジネス日本語		1・2①～④		2								兼1		
日本研究(日本の政治)		1・2①～④		2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)	
日本研究(日本の民族)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)		
日本研究(日本の経済)	1・2①～④		2								兼1	副題による授業内容の明確化及び平成29年度の担当者調整による(29)		
留 学 支 援 教 育 科 目	留 学 支 援 教 育 科 目	留学スタートアップ	1・2①～④		1							兼1		
		留学英語入門(TOEFL/IELTS)	1・2①～④		2								兼1	副題による科目名の明確化(29)
		英語圏留学入門	1・2①～④		1								兼2 兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
		アジア圏留学入門	1・2①～④		1								兼1	
		外国語としての日本語	1・2①～④		2								兼1	
		留学フォローアップ	1・2①～④		1								兼1	
		グローバル特講Ⅰ	1①～④		2								兼2 兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
		グローバル特講Ⅱ	1①～④		1								兼1	
		グローバル特講Ⅲ	2①～④		2								兼1	
		グローバル特講Ⅳ	3①～④		1								兼1	
		海外研修A	1～4		1									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
		海外研修B	1～4		2									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
		海外研修C	1～4		3									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
		海外研修D	1～4		4									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)
海外研修E	1～4		5									設置申請時の文部科学省からの指摘により海外セミナーで修得した単位について読替科目を学則に配置(29)		
グローバル特講Ⅳ	3①～④		1								兼1			

共通教育科目	国際共修科目	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		Multicultural Project(Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		Multicultural Project/Images of Japan in Western Cinema)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		多文化交流プロジェクト(多文化理解)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		多文化交流プロジェクト(地方の魅力)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		多文化交流プロジェクト(広島再発見)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
		多文化交流プロジェクト(日本語・日本文化セミナー)	1・2①～④	2						兼1	副題による授業の明確化(29)
	教養科目	哲学	1・2①～②	2						兼1	
		倫理学	1・2③～④	2						兼1	
		美学	1・2①～②	2						兼1	
		芸術学	1・2①～②	2						兼2	
		日本文学	1・2①～②	2						兼1	
		西洋文学	③～④ 1・2①～②	2						兼2	平成29年度の担当者調整及び時間割調整により開講期を変更(29)
		日本語学	1・2①～②	2						兼1	
		心理学	①～③ 1①～④	2	3	1	1				時間割調整により開講期を変更(29)
		文化論	④ 1・2①～②	2						兼2	時間割調整により開講期を変更(29)
		文化人類学	1・2①～②	2						兼1	
		日本史	1・2①～②	2						兼2	
		東洋史	1・2①～②	2						兼1	
		西洋史	1・2①～②	2						兼2	平成29年3月担当者1名退職による(29)
		地理学	1・2①～②	2						兼2	
		社会学	1・2①～②	2						兼1	
		法学	1・2①～②	2						兼1	
		政治学	1・2①～②	2						兼1	
		経済学	④ 1・2①～②	2						兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
		統計学	1・2①～②	2						兼1	
		情報社会論	1・2①～②	2						兼1	
		物理学	1・2③～④	2						兼1	
		化学	1・2①～④	2						兼1	
		生物学	1・2①～④	2						兼1	
		環境科学	1・2①～④	2						兼1	
		数学	1・2①～②	2						兼1	
		教養講義(現代の哲学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(西洋の美術)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(西洋の音楽)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(江戸文学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(ドイツ文学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(西洋文化論)	①～② 1・2③～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
		教養講義(アジアの文化と社会)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(日本近代史)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(日本近現代史)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(東洋近世史)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(西欧近代史)	未開講 1→2③～④	2						兼1	平成29年3月担当者退職による科目削除(29)
		教養講義(西洋中近世史)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(生活の中の地理学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(現代経済学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(応用統計学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(情報環境論)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(ヒトの生命科学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(応用数学)	1・2③～④	2						兼1	
		教養講義(現代心理学の展開)	④ 1③	2			1				時間割調整により開講期を変更(29)
		教養講義(社会と政治)	1・2①～②	2						兼1	
		総合教養講義a(近現代の哲学)	③～④ 1・2①～②	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
		総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(浮世絵)	1・2①～②	2						兼1	
		総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	1・2①～②	2						兼1	
		総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(英語と日本語)	1・2①～②	2						兼1	
		総合教養講義a(ことばと社会)	1・2①～②	2						兼1	
		総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2①～④	2						兼1	
		総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(教育文化論)	1・2③～④	2						兼1	
		総合教養講義a(歴史と社会)	③ 1・2①～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
		総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2③～④	2						兼1	

	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2①～②	2						兼1	
	総合教養講義a(ベーシック・ファイナンス)	1・2①～②	2						兼1	
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2③～④	2						兼1	
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	①～② 1・2③～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2③～④	2						兼1	
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	② 1・2①～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(家族と法)	①～② 1・2③～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	①～② 1・2③～④	2						兼2	人数誤記入(29)
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	①～② 1・2③～④	2						兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2①～②	2						兼1	
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2③～④	2						兼1	
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2①～②	2						兼1	
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2①～④	2						兼1	
	総合教養講義a(大気の問題と生態系)	1・2①～④	2						兼1	
	総合教養講義a(生物多様性保全の問題)	1・2①～④	2						兼1	
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2①～④	2						兼1	
	総合教養講義a(自然環境と災害)	未開講 1→2①～②	2						兼1	平成29年度3月担当者退職による(29)
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2③～④	2						兼1	
	総合教養講義b(芸術文化)	2①～④	2						兼1	
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2③～④	2						兼1	
	総合教養講義b(和紙)	2③～④	2						兼1	
	(メディア論) 総合教養講義b(マスコミ論)	2③～④	2						兼1	平成29年度教育内容の見直しによる科目名称変更(29)
	総合教養講義b(社会保障論)	2③～④	2						兼1	
	総合教養講義b(労働問題と法)	2③～④	2						兼1	
	総合教養講義b(国際理解)	2①～②	2						兼1	
	総合教養講義b(生命情報論)	2①～②	2						兼1	
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2①～②	2						兼12	
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2①～④	2						兼4 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1①～②	1						兼4	
	英語リスニングⅢ	1①～②	1						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リスニングⅤ	1①～②	1						兼1	
	英語リスニングⅡ	1③～④	1						兼4	
	英語リスニングⅣ	1③～④	1						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リスニングⅥ	1③～④	1						兼1	
	英語リーディングⅠ	1①～②	1						兼4	
	英語リーディングⅢ	1①～②	1						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リーディングⅤ	1①～②	1						兼1	
	英語リーディングⅡ	1③～④	1						兼4	
	英語リーディングⅣ	1③～④	1						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語リーディングⅥ	1③～④	1						兼1	
	実用英語実習Ⅰ	1・2①～②	1						兼1	
	実用英語実習Ⅱ	1・2③～④	1						兼1	
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語ライティング研究Ⅲ	未開講 1→2①～②	2						兼1	平成29年度の担当者調整による(次年度以降開講予定)(29)
	英語ライティング研究Ⅳ	未開講 1→2③～④	2						兼1	平成29年度の担当者調整による(次年度以降開講予定)(29)
	英語読解研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼3 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語読解研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼3 兼4	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語読解研究Ⅲ	1・2①～②	2						兼1	
	英語読解研究Ⅳ	1・2③～④	2						兼1	
	英語聴解研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語聴解研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語聴解研究Ⅲ	1・2①～②	2						兼1	
	英語聴解研究Ⅳ	1・2③～④	2						兼1	
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼2 兼3	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2①～②	2						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2③～④	2						兼1 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2①～②	2						兼1	
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2③～④	2						兼1	
	英語語法研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼2	
	英語語法研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼2	
	英語語法研究Ⅲ	1・2①～②	2						兼1	
	英語語法研究Ⅳ	1・2③～④	2						兼1	

	資格英語研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼5	
	資格英語研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼5	
	資格英語研究Ⅲ	1・2①～②	2						兼2	
	資格英語研究Ⅳ	1・2③～④	2						兼2	
	資格英語研究Ⅴ	未開講 1・2①～②	2						兼1	平成29年度の担当者調整による（次年度以降開講予定）（29）
	資格英語研究Ⅵ	1・2③～④	2						兼1	
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2①～②	2						兼1	
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2③～④	2						兼1	
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	ドイツ語Ⅱ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	ドイツ語Ⅲ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	ドイツ語Ⅳ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	フランス語Ⅰ	1①～②	1						兼1	
	フランス語Ⅱ	1③～④	1						兼1	
	フランス語Ⅲ	1①～②	1						兼1	
	フランス語Ⅳ	1③～④	1						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1①～②	1						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1③～④	1						兼1	
	スペイン語Ⅲ	1①～②	1						兼1	
	スペイン語Ⅳ	1③～④	1						兼1	
	中国語Ⅰ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	中国語Ⅱ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	中国語Ⅲ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	中国語Ⅳ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1①～②	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1③～④	1						兼2 兼1	平成29年度の担当者及びクラス数調整による（29）
	言語と文化Ⅰ（ドイツ）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅱ（ドイツ）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅲ（ドイツ）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅳ（ドイツ）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅰ（フランス）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅱ（フランス）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅲ（フランス）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅳ（フランス）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅰ（スペイン）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅱ（スペイン）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅲ（スペイン）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅳ（スペイン）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅰ（中国）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅱ（中国）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅲ（中国）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅳ（中国）	2③～④	2						兼1	
	言語と文化Ⅰ（韓国・朝鮮）	2①～②	2						兼2	
	言語と文化Ⅱ（韓国・朝鮮）	2③～④	2						兼2	
	言語と文化Ⅲ（韓国・朝鮮）	2①～②	2						兼1	
	言語と文化Ⅳ（韓国・朝鮮）	2③～④	2						兼1	
	上級外国語Ⅰ（ドイツ語）	2①～②	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅱ（ドイツ語）	2③～④	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅰ（フランス語）	2①～②	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅱ（フランス語）	2③～④	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅰ（スペイン語）	2①～②	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅱ（スペイン語）	2③～④	2						兼1	平成29年度より教育課程の充実を図るため、科目追加（29）
	上級外国語Ⅰ（中国語）	2①～②	2						兼1	
	上級外国語Ⅱ（中国語）	2③～④	2						兼1	
	上級外国語Ⅰ（韓国・朝鮮語）	2①～②	2						兼1	
	上級外国語Ⅱ（韓国・朝鮮語）	2③～④	2						兼1	

保健 体育 科目	健康科学論	1・2③～④		2					兼1 兼2 兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
	運動科学論	1・2③～④		2					兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	健康科学演習	③～④ 1・2①～②		2					兼1	
	運動科学演習	1・2③～④		2					兼1	
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2③～④		1					兼1	平成29年度の担当者調整及び時間割変更による(29)
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	③ 1・2①～④		1					兼1 兼2	
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2①～④		1					兼1 兼2	
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2①～②		1					兼1	平成29年度の担当者調整による(29)
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2①～④		1					兼3 兼2	
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2①～②		1					兼2	
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2①～④		1					兼3 兼2	平成29年度の担当者調整による(29)
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	①～② 1・2③～④		1					兼1	時間割調整により開講期を変更(29)
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2①～④		1					兼1	平成29年度の担当者調整及び時間割変更による(29)
	健康スポーツ実習(バドミントン)	① 1・2③～④		1					兼2 兼3	
	健康スポーツ実習(ボディワーク)	未開講 1・2③～④		1					兼1	
	健康スポーツ実習(S h u d o A P)	1・2③～④		1					兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除(29)
	健康スポーツ実習(アダプテッド・スポーツ)	1・2③～④		1					兼2	
	健康スポーツ実習(フットサル)	未開講 1・2①～④		1					兼1	
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2①～④		1					兼1	全学的な保険体育科目の調整により科目削除(29)
	運動スポーツ実習(フットサル)	未開講 1・2③～④		1					兼1	
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	③ 1・2①～④		1					兼1	
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	③ 1・2①～④		1					兼2	時間割調整により開講期を変更(29)
	運動スポーツ実習(サッカー)	③ 1・2①～④		1					兼3	時間割調整により開講期を変更(29)
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2①～④		1					兼2	全学的な保険体育科目の調整により科目削除(29)
	運動スポーツ実習(卓球)	未開講 1・2①～④		1					兼1	
	運動スポーツ実習(ダンス)	③ 1・2①～④		1					兼3 兼2	
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2①～④		1					兼1	人数誤記入(29)
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2①～④		1					兼1	
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2①～④		1					兼2	
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2①～④		1					兼1	人数誤記入(29)
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2①～④		1					兼1	
	野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	1・2①～②		1					兼3	
	野外運動実習Ⅰ(スキー)	1・2③～④		1					兼3	人数誤記入(29)
	野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	1・2①～②		1					兼1	
	野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	1・2③～④		1					兼1	
主 専 攻 科 目	健康科学統計法	1①		2					兼2	
	健康心理学	1・2②	2						兼1	
	食行動科学	2・3①	2						兼1	
	カウンセリング心理学	2・3①～②	2						兼1	
	栄養と健康	1①～②		2		1				
	基礎化学	1①～②		2		1				
	食育入門	3①～②		2			1			
	地域食文化論	3③～④		2			1			
	スポーツ文化論	1・2①～②		2					兼1	
	コミュニケーション論A	2・3①～②		2					兼1	
	コミュニケーション論B	2・3③～④		2					兼1	
	スポーツ社会学	2・3①～②		2					兼1	
	健康科学部特別講義(生命と倫理)	1③～④		2					兼1	
	インターンシップ	2・3通		2		2			兼1	
	イノベーション・プロジェクトⅠ(地域課題研究2019)	3・4通		2					兼1	
	イノベーション・プロジェクトⅡ(地域課題研究2019)	3・4③～④		2					兼1	
	イノベーション・プロジェクトⅠ(地域課題研究2020)	3・4通		2					兼1	
	イノベーション・プロジェクトⅡ(地域課題研究2020)	3・4③～④		2					兼1	
専 門 基 礎 分 野	健康管理概論	1①～②	2			1				兼1
	公衆衛生学	2①～②	2			1				
	社会福祉概論	2③～④	2							
	地域包括ケア論	3①～②	2			1				
	生化学Ⅰ	1①～②	2			1				1
	生化学Ⅱ	1③～④	2			1				
	生化学実験	2①～②	1			1				
	解剖生理学Ⅰ	1①～②	2			1				
	解剖生理学Ⅱ	1③～④	2			1				
	解剖生理学実験	2①～②	1			1				
	臨床医学Ⅰ	2①～②	2			1				
	臨床医学Ⅱ	2③～④	2			1				
	臨床医学Ⅲ	3③～④	2			1			1	
	病人体の成り立ちと機能及び疾病								兼1	

専 門 分 野	食 べ 物 と 健 康	食品学Ⅰ	1①～②	2			1						
		食品学Ⅱ（含食品加工学）	1③～④	2			1						
		基礎分析実験	1①～②	1			1				1		
		食品学実験Ⅰ	1③～④	1			1				1		
		食品学実験Ⅱ	2①～②	1			1						
		食品加工学実習	3①～②	1			1				1		
		食品衛生学	1③～④	2			1						
		食品衛生学実験	2①～②	1			1				1		
		調理学	1①～②	2			1						
		調理学実習Ⅰ	1①～②	1			1				1		
		調理学実習Ⅱ	1③～④	1			1				1		
		調理学実習Ⅲ	2①～②	1			1				1		
	学 基 礎 米 養 食	基礎栄養学	1③～④	2			1						
		栄養生理学実験	2③～④	1			1				1		
		応用栄養学Ⅰ	2①～②	2				1					
		応用栄養学Ⅱ	2③～④	2				1					
		応用栄養学Ⅲ	3①～②	2				1					
		応用栄養学実習	3③～④	1				1			1		
		栄養教育論Ⅰ	2①～②	2			1						
		栄養教育論Ⅱ	2③～④	2			1						
		栄養カウンセリング演習	3①～②	2			1						
		栄養教育論実習	3③～④	1			1				1		
	臨 床 米 養 食	臨床栄養学Ⅰ	2①～②	2			1						
		臨床栄養学Ⅱ	2③～④	2			1						
		臨床栄養学Ⅲ	3①～②	2			1						
		臨床栄養学演習	3①～②	2			1						
		臨床栄養学実習Ⅰ	3①～②	1			1				1		
		臨床栄養学実習Ⅱ	3③～④	1			1				1		
	公 衆 米 養 食	公衆栄養学Ⅰ	2③～④	2			1						
		公衆栄養学Ⅱ	3①～②	2			1						
		公衆栄養学実習	3③～④	1			1				1		
	給 食 経 営 管 理 論	給食経営管理論Ⅰ	1③～④	2			1						
		給食経営管理論Ⅱ	2①～②	2			1						
		給食経営管理実習Ⅰ（学内）	2③～④	1			1				2		
		給食経営管理実習Ⅱ（地域配食）	2③～④	1			1				2		
	総 合 演 習	総合栄養演習Ⅰ	3①～④	2			4						
		総合栄養演習Ⅱ	4①～④		2		4						
	臨 地 実 習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3①～④	1			1				1		
		臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	4①～④		1		1				1		
		臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4①～④		1		2				1		
		臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4①～④		1		2				1		
		臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	4①～④		1		2				1		
	専 門 発 展 分 野	食品機能性成分の理解	3①～②		2		1						
		食品微生物学	3③～④		2		1						
		食産業の理解	3③～④		2		1						
		地域食産業演習	4①～④		2		1						
	ゼ ミ ナ ー ル	卒業基礎ゼミ	3③～④	2			10	1					
		卒業ゼミ	4①～④	2			10	1					
		卒業年次セミナー	4①～④		2		10	1					
資 格 課 程 に 関 す る 科 目	科 選 自 目 次 由	他学部他学科の授業科目につき省略											
		教職入門（中等）	1①～②			2							兼1
		教育心理学（中等）	2・3③～④			2							兼1
		教育原理（中等）	1①～②			2							兼1
		教育制度論（中等）	1③～④			2							兼1
		中等道徳教育論	2③～④			2							兼1
		中等特別活動論	2③～④			2							兼1
		中等教育方法論	2①～②			2							兼1
		中等生徒指導論（栄養）	2①～②			2							兼1
		中等教育相談	2③～④			2							兼1
		学校栄養教育実習事前事後指導	3・4①～④			1	2	1			1		
		学校栄養教育実習	4①～④			1	1				1		
		教職実践演習（栄養）	4③～④			2	2	1					兼1

科 関 資 目 連 格 授 課 業 程	学校栄養教育論Ⅰ	3①～②			2	1	1						
	学校栄養教育論Ⅱ	3③～④			2	1	1						
	憲法Ⅰ	1・2①～②			2								兼1
	憲法Ⅱ	1・2③～④			2								兼2

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
55	275	16	346	55	290	16	361	
				[0]	[25]	[0]	[15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2①～②	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。
2	英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2③～④	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。
3	資格英語研究Ⅴ	2	1・2①～②	一般	選択	平成29年度の担当者の授業数調整により、当該年度不開講としたため。次年度以降開講で調整中。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教養講義(西欧近代史)	2	1・2③～④	一般	選択	担当者が退職したことにより科目削除。
2	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2①～②	一般	選択	担当者が退職したことにより科目削除。
3	健康スポーツ実習(ボディワーク)	1	1・2③～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
4	健康スポーツ実習(フットサル)	1	1・2①～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
5	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2③～④	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。
6	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2①～②	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により科目削除。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目と未開講科目はすべて、全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由に示すとおり、これらの科目の未開講・廃止のほとんどが、申請時点では予測不可能なものであった。また、すべてが選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学修に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。

学生には、学生必携の「学修の手引き」および入学時及び成績発表時に教学センターガイダンスを開催し、丁寧に周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{346} = \boxed{2.6} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡						
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡						
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡						
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡						
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡						
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建築計画と登記上の誤 差による。(29)						
	70,640㎡ 70,746㎡ (70,640㎡) (70,746㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,640㎡ 70,746㎡ (70,640㎡) (70,746㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体					
	98室 100室	17室 20室	65室	18室 (補助職員 一人)	7室 8室 (補助職員 一人)	利用計画の変更によ る。(29)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	健康科学部 心理学科			13 室							
	健康科学部 健康栄養学科			12 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体			
	健康科学部	887,652[239,007] 942,647[242,562] (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	12,918[12,298] 12,403[12,352] (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	22,900 22,606 (22,390) (22,096)	— (—)	— (—)				
	計	887,652[239,007] 942,647[242,562] (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	12,918[12,298] 12,403[12,352] (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	22,900 22,606 (22,390) (22,096)	— (—)	— (—)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 増席(29)			
	11,700㎡		952 948		1,200,000						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	8,871㎡		屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体	
		教員1人 当り研究 費等	心理学科	676千円	676千円	図書 購入 費	心理学科	0千円	4,318千円	9,358千円	図書費には電子ジャー ナル・データベース整 備費（運用コスト含 む）を含む。 開設前年度事業終了に 伴う執行額確定のた め。(29)
			健康栄養 学科	676千円	676千円		健康栄養 学科	10,714千円 10,708千円	3,858千円	9,396千円	
		共同研究 費等	心理学科	1,000千円	1,000千円	設備 購入 費	心理学科	359千円	2,036千円	15,891千円	
			健康栄養 学科	1,000千円	1,000千円		健康栄養 学科	283,999千円 270,332千円	2,149千円	17,068千円	
	学生 1人 当り 納付 金	第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		心理	1,260千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	一千円	一千円			
		健康 栄養	1,340千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	一千円	一千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	広島修道大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
商学部	年	人	年次 人	人		倍		広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.12	昭和35年度	同上	
経営学科	4	155	—	620	学士 (経営学)	1.12	昭和38年度	同上	
経済科学部								同上	
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.19	平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.16	平成9年度	同上	
人文学部								同上	
人間関係学科		115		460				同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成29年より学生募 集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.19	昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成28年より学生募 集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	0.99	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.12	昭和48年度	同上	
法学部								同上	
法律学科	4	220	—	880	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	80	—	320	学士 (国際政治)	1.21	平成2年度	同上	
人間環境学部								同上	
人間環境学科	4	145	—	580	学士 (人間環境)	1.18	平成14年度	同上	
健康科学部								同上	
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.06	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	0.98	平成29年度	同上	
商学研究科								同上	
商学専攻								同上	
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.25	昭和48年度	同上	
経営学専攻								同上	
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.58	昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上	
経済科学研究科								同上	
現代経済システム専攻								同上	
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.25	平成15年度	同上	
経済情報専攻								同上	
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.21	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上	

人文科学研究科								同上	
心理学専攻								同上	
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (心理学)	0.10	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.37	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.15	昭和59年度	同上	
英文学専攻								同上	
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.30	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	昭和56年度	同上	
法学研究科								同上	
法律学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.15	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治)	0.27	平成6年度	同上	
大 学 の 名 称	鈴峯女子短期大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	(鈴峯女子短期大学) 平成29年に廃止認可 申請予定
	年	人	年次 人	人		倍			
食物栄養学科	2	—	—	—	短期大学士 (家政学)	—	平成13年度	広島市西区井口 四丁目6番18号	平成28年より学生募 集停止
保育学科	2	—	—	—	短期大学士 (保育学)	—	平成16年度		平成28年より学生募 集停止
言語文化情報学科	2	—	—	—	短期大学士 (総合文化学)	—	平成18年度		平成26年より学生募 集停止
キャリア創造学科	2	—	—	—	短期大学士 (総合文化学)	—	平成26年度		平成28年より学生募 集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

＜健康科学部 心理学科＞

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年10月)	1.活動推進学期において「海外セミナー」、「地域援助実践体験」又は「心理学とキャリア形成」のいずれを履修する学生に対しても、活動推進学期の意図と教育課程との対応関係を十分に理解するように周知し、学生が自らのキャリアを見据えて、科目の履修や自主的な活動を行うことができるよう指導すること。併せて、「心理学とキャリア形成」を履修する場合の履修モデルを作成し、教育課程における「心理学とキャリア形成」の位置付けを分かりやすく学生に示すこと。	留意事項	新入生用の「2017学修の手引きー健康科学部」において、活動推進学期の意図と教育課程との対応関係を記述して配布した（資料1）。新入生ガイダンスでは、この「2017学修の手引き」並びに配布資料（資料2・資料3・資料4）を用いて、活動推進学期の意義と活動内容、及び活動推進学期に向けて今後必要となる準備について周知した。第1学期に開講される「修大基礎講座」、第2学期に開講される「初年次セミナー」において、引き続き活動推進学期の意義と内容についてその周知を徹底する。	「地域援助実践体験」の履修希望者には、1年次第4学期に希望理由書の提出を求め、これに対する審査と面接、及び単位修得状況の確認を通じて履修の適否を判断する。したがって、1年次第3学期～第4学期初頭にかけて、当科目担当者による説明会を複数回に渡って実施する。
	2.海外セミナーの単位認定については、本学における対応する各科目をあらかじめ学生に明示するなど、学生に対して分かりやすい情報を提供すること。	留意事項	各海外セミナーにおける学習内容・学習時間に対応する科目（海外研修A、B、C、D、E）を全学共通のグローバル科目区分（留学支援教育）に追加し、これによって単位認定することとした。活動推進学期中の海外セミナーに対応する科目は資料5の通りとし、このことを新入生に対するガイダンスにおいて周知した。	海外セミナー参加者募集要項において、本学における読み替え科目を明示するとともに、募集説明会においても周知する。活動推進学期中の海外セミナーに関しては、「地域援助実践体験」の説明会の際にも学科教員が説明し、周知する。
	3.海外セミナーと「地域援助実践体験」については、受入可能人数に限られており、希望者が全員受講できる体制とは言えないことから、あらかじめ対象人数や選定の基準を学生に周知するとともに、希望者が受講できるように受入先の拡充や受講期間の柔軟化に努めること。	留意事項	海外セミナーと「地域援助実践体験」の受け入れ予定人数並びにその選考基準の概略について新入生ガイダンスにおいて説明した。「地域援助実践体験」の受け入れ先については、認可申請書類提出後、新たに3施設（定員15名）から受け入れの了承を得た（資料6）。	海外セミナーと「地域援助実践体験」の受け入れ先については、その追加がなされるたびにMoodle上で心理学科の学生に周知する。 「地域援助実践体験」における各受け入れ施設での正式な活動スケジュールを本年の8月以降11月までに確定し、順次当該施設との覚書を交わす。
	4.「心理学とキャリア形成」は、学生が自らテーマを設定して活動を行う科目であることから、「学外で1か月以上の体験学習に従事する教育プログラム」としての考え方が各テーマに反映されるよう十分に指導し、適切な活動把握と成績評価を行うよう努めること。	留意事項	「心理学とキャリア形成」の科目理念について新入生ガイダンスにおいて説明した。また、本学のひろしま未来協創センター・ピアカウンターの協力により、当該科目の履修生が短期ボランティア活動に参加できる素地を整えた（資料7）。	「心理学とキャリア形成」は2年次配当科目であるため本年度の開講はないが、想定されるテーマ・活動及び成績評価基準について、本年度中に担当者間で議論・検討する。

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時				

＜健康科学部 健康栄養学科＞

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年10月)	1. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度後に教育・研究の水準を落とすことなく、年齢・職位の点で適正な教員組織編成に速やかに移行するために、完成年度前に本学規程に定める退職年齢を超える専任教員5名のうち、適格者が少ないことが予想される4名（「臨床医学Ⅰ」「食品学Ⅰ」「調理学」「公衆栄養学Ⅰ」の各担当教員）の後任教員人事については、退職年度の前年度に公募を開始し時間をかけて選考することにした。	左記の4名の後任人事の公募案を検討するとともに、残り1名が担当している「生化学Ⅰ」等の科目担当として、現有の他の専任教員が適格と認められるように業績を積むことを促す。
設置計画履行状況 調 査 時				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

(資料1～資料7 略)

7 その他全般的事項

＜健康科学部 心理学科・健康栄養学科 共通＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学FD・SD規程に基づき広島修道大学大学運営会議で審議する。健康科学部に関する事項は、健康科学部FD推進委員会を設置して審議する。さらに、心理学科と健康栄養学科のそれぞれの学科会議においても、教育内容、教育方法等の改善を図るために、必要に応じてFD活動を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

＜大学運営会議＞

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成29年度も4月24日の大学運営会議の「平成29年度研修計画について」で平成28年度の研修実施実績の報告と平成29年度の研修計画が承認された。

＜健康科学部FD推進委員会＞

年に2回以上開催する予定であり、健康科学部専任教員（教員助手を含む）及び学部担当の教学センター職員が参加する。

＜学科会議＞

毎月1回開催する予定であり、学科の教員すべてが参加する。

c 委員会の審議事項等

＜大学運営会議＞

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

＜健康科学部FD推進委員会＞

1. カリキュラム・授業科目の構成について
2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 授業の方法について
4. 履修指導について
5. 厳正で客観的な成績評価方法について
6. 成績評価結果の告知方法について
7. 進級制度及び進級認定について
8. 最終試験及び卒業認定について
9. 資格取得について
10. 授業アンケートについて
11. その他必要な事項について

② 実施状況

a 実施内容

全学では、授業改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目的としたFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目的とした組織的な公開授業等を行っている。健康科学部FD推進委員会では、カリキュラム、成績評価、多様な学生への対応等について研修会を行う予定である。

b 実施方法

全教員が参加できるように定例教授会の前後に開催するようにしている。全学のFD・SD研修会は定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。健康科学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に連続して開催することとしている。また、FD・SD研修会では、大学を構成する各学部・部局がその取り組みを共有できるように報告者を工夫したり、健康科学部FD推進委員会では研修テーマについて各学科が事前に取り組みを整理するなどして、それぞれの研修の目的を達成できるように努力する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

平成29年度は、現時点で、第1回「第三期認証評価について（仮題）」（6月14日）、第2回「本学の自己点検・評価について—2011年から2017年までを振り返る—（仮題）」（8月4日）、第3回「テーマは調整中」（10月11日）の開催が決定している。平成28年度は以下の通りであった。

第1回「チュートリアル機能の充実について—単位僅少学生が卒業するために—」（6月9日開催 参加者数：教員134名、職員74名）

第2回「つながる—世界で、地域で、キャンパスで—」（8月3日開催 参加者数：教員142名、職員125名）

第3回「4学期制と導入事例について」（11月24日開催 参加者数：教員130名、職員77名）

第4回「大規模教室における授業方法に関する工夫と取り組み」（1月12日開催 参加者数：教員127名、職員46名）

・教育力アップセミナー（新任教員対象）

平成28年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

（9月13日開催 参加者数：教員9名、職員11名）

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成29年度は6月7日から6月27日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成28年度は、80名の教員が153クラスで公開授業を実施し、延べ120名の教職員が参加しアドバイス・シートを授業担当者に提出して授業改善を促した。

〈健康科学部〉

・健康科学部FD推進委員会

5月定例教授会（5月17日開催予定）の終了後に第1回委員会を開催する予定である。テーマは「FD推進委員会で検討する事項と運営について」であり、FD推進委員会で検討すべき事項の確認と委員会の運営方法の検討を行う。

・学科会議

第1回心理学科会議（4月4日開催）では、1年生のうち配慮希望のあった学生に関する情報を共有し、授業方法に関して議論した。心理学科の教員13名が参加した。

第1回健康栄養学科会議（4月4日開催）では、実験実習科目における適切な授業時間及び休憩の確保について議論した。健康栄養学科の教職員12名（助手を含む）が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFD・SD研修会では、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回（前期・後期）定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成29年度も第2学期末の7月、第4学期末の1月に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、授業担当者だけでなく学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表（学部単位の実施者数および率）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学科は、本学人文学部人間関係学科心理学専攻が従来培ってきた心理学の基礎的領域の教育を土台とした上で、国家資格としての「公認心理師」が制定され、また公益社団法人日本心理学会が学会認定資格として「認定心理士（心理調査）」を創設する等の現代社会の要請を踏まえて、精神と行動を科学的に測定・検査・分析するための実践的能力を積み上げることによって、人々の精神的健康の回復・保持・増進を支援できる人材や、身の周りの製品や組織の設計・改善を「個としての人間」の観点から提言できる人材を育成することを目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、入学試験では、定員80名に対し全入試制度で770名が志願し85名が入学したことから、心理学科の設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきたと確信している。さらに、設置の目的に沿って2年次第3学期から配属するコース（心理臨床コース、心理調査コース、心理科学コース）の内容については、入学当初の教学センターガイダンスと心理学科教員ガイダンスにおいて、学生に十分に説明した上で履修指導を行っており、第1・第2学期の履修登録は概ね指導通りとなっている。

健康栄養学科は、広島県という地域の特性と課題を理解し、各ライフステージにおいて生活習慣病予防のための適切な栄養教育を行うと共に、高齢者に対して実際の食生活・食環境に対応した栄養ケア・マネジメントを行うことのできる、知識と実践力を兼ね備えた管理栄養士を養成することを目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、入学試験では、定員80名に対し全入試制度で279名が志願し79名が入学したことから、健康栄養学科の設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきたと確信している。さらに、入学当初の教学センターガイダンスと心理学科教員ガイダンスにおいて、設置の趣旨・目的を学生に十分に説明した上で履修指導を行っており、第1・第2学期の履修登録は概ね指導通りとなっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

前年度の教育研究活動に関する報告書を毎年7月に公表する予定である。

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。次回は平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017 年 7 月 1 日)